

第2回大貫地区保護者説明会会議録

1. 日時 平成29年3月14日（火）19：00開始

2. 会場 中央公民館

3. 教育部参加者

岡根教育長、能城教育部長、今井学校教育課長、鶴岡教育総務課長、竹谷教育センター所長、須藤学校教育課主幹、鈴木教育センター主幹、財前教育センター指導主事、刈込教育総務課課長補佐、

4. 保護者参加者 3名

5. 会議録

進行：教育センター主幹

発言者	発言内容
能城部長	1 開会の言葉 2 出席者紹介
岡根教育長	3 教育委員会あいさつ
須藤主幹	4 「アンケート結果及びQ&A」についての説明
保護者	5. 質疑 今の5年生は佐貫中に入学するのではなく、大貫中に入学する方がよいのでは。
今井課長	スクールバスの導入や制服などが間に合わない。佐貫中の残された生徒は後輩がいない中で、勉強や部活を頑張らなければならない。また、残った生徒に対して教員の配置が行われるので、教育活動ができなくなる。
保護者	中3で自分の子どもは一緒になる。女の子の制服は男の子と違う。平成30年に入学するお子さんから制服のデザインを替えていくことはできないのか。今から動いて間に合うのか。
今井課長	制服については、2校で決めていく。平成29年度の中で決めていかなければならない。個別の計画の中で提示していきたい。
保護者	佐貫中学校の跡地を道の駅に活用できないか。学校ではなく別のものとしていくことができるのはわくわくする。そういう活用ができないものか。
鶴岡課長	地元の皆さんが活用したいとなれば検討していきたい。
保護者	大貫中には武道場を建てないとあったが、社会体育で剣道をやっている。佐貫中の武道場を壊すと困る。どうなるのかが心配である。

今井課長	部活をどうしていくかを2校で協議していくことになる。剣道を残した場合、大貫中の体育館を使うか佐貫中を使うか検討する。
保護者	今、剣道をやっている子どもはかなりいる。どうしたら大貫中に武道場を作ってほしいという要望が通るのか。
保護者	ずっと剣道をやってきて、大貫中で中3になったとき剣道部がなくなるというのはかわいそうである。
今井課長	教職員の定数というのがある。人数が減っていけば教職員が対応できないこともある。与えられた教職員で指導しなければならない。統合してもクラス数が増えなければ教職員は増えない。何らかの調整をしていかなければいけない。
保護者	剣道がなくなってしまうと富津中に行ってしまうことも心配される。野球部も顧問の先生がいなくなるとなくなるのか。
今井課長	経験していない顧問は自分で勉強して何とか力をつけて指導している。社会人活用ができれば、専門的な指導ができるということも考えていかなければならない。中3で部活がなくなるのはかわいそうである。そこは両校で考えて対応していきたい。武道場の使い方については考えていきたい。近いうちに武道場を建てる計画は入っていない。土日に佐貫中で剣道をやすることも考えていく。
保護者	大貫中は昔から武道場がなかったのか。
今井課長	なかった。プレハブで柔道や剣道をやっていた。
能城部長	6. 閉式の言葉